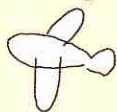


桐生

Kiryu



桐生

KIRYU

桐生市はこんな街

1,300年続く絹織物の産地で、江戸時代には「西の西陣、東の桐生」と謳われて織物の一大産地となった桐生。そうした、織物産業の歴史を伝える建造物が数多く残された街並みは近代文化遺産そのもの。多彩な産業観光ができ、イベントも多く、訪れる人々を魅了している。そして、ソースカツ丼、ひもかわなどの「桐生発祥グルメ」も大きな魅力だ。

桐生では伝統的建造物も見どころ!



桐生&足利は、いっしょに巡って旅も充実!

群馬県桐生市と栃木県足利市は、県境を挟んで隣同士。昔から織物を通じて発展したふたつの街には、数々の歴史的な見どころやイベントがたくさんあります。桐生と足利をつなげて街を巡るだけでなく、さらに足を延ばせば、群馬と栃木の旅がグンと充実します。

※掲載した情報は2018年2月時点のものです。

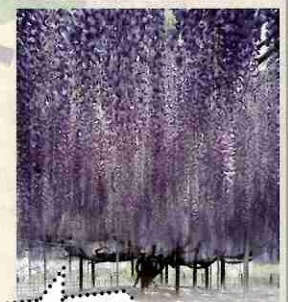


足利

ASHIKAGA

足利市はこんな街

足利氏発祥の地である足利市は、日本最古の学校といわれる史跡足利学校をはじめ、足利氏宅跡で本堂が国宝の鑊阿寺など、歴史的建造物が数多く残る街。モダンな柄と斬新な色使いで一世を風靡した絹織物「足利銘仙」は、織物産業で栄えた足利の象徴だ。また、「息をのむほど美しい」と人々を魅了する、あしかがフラワーパークの大藤も見逃せない。



足利に来たらほかでは見られない藤棚をぜひ!



桐生へのアクセス

電車をご利用の方

浅草駅	北千住駅	東武鉄道	新桐生駅	徒歩またはタクシー	約1時間50分
中央前橋駅		上毛電鉄	西桐生駅	徒歩またはタクシー	約1時間
東京駅	高崎駅または小山駅	JR新幹線	桐生駅	徒歩またはタクシー	約1時間50分
		JR両毛線			

お車をご利用の方

練馬I.C.	鶴ヶ島JCT	高崎JCT	太田藪塚I.C.	一般道路	約1時間30分
	関越自動車道	関越自動車道			
浦和I.C.	久喜白岡JCT	岩舟JCT	太田桐生I.C.	一般道路	約1時間10分
	東北自動車道	北関東自動車道			

足利へのアクセス

電車をご利用の方

浅草駅	東武伊勢崎線		足利市駅	徒歩またはタクシー	足	約1時間15分	
新宿駅	JR湘南新宿ライン	久喜駅	東武伊勢崎線	足利市駅		徒歩またはタクシー	約1時間30分
東京駅	JR新幹線	小山駅	JR両毛線	足利駅		徒歩またはタクシー	約1時間40分

お車をご利用の方

大泉I.C.	東京外環自動車道	川口JCT	東北自動車道	岩舟JCT	北関東自動車道	足利I.C.	一般道路	約1時間10分
浦和I.C.			東北自動車道			佐野藤岡I.C.	一般道路	約1時間

1泊2日で大満足!/ 足利~桐生 おすすめ モデルコース

1泊2日でめぐるモデルコースをご紹介。
歴史探訪・グルメ・体験まで
盛りだくさんに楽しもう!

START!/
1日目 07:00 東京都内

桐生・足利の市内周遊は レンタサイクルもおすすめ!

桐生市・足利市ともレンタサイクルを活用すれば、
便利に街を回れます。

【足利市】

- 太平記館 電話/0284-43-3000
受付/9:00~16:00
- 足利観光交流館(あし・ナビ) 電話/0284-73-3631
受付/9:00~16:00

【桐生市】

- JR桐生駅(桐生市民活動推進センター「ゆい」)
電話/0277-47-4066 受付/10:00~17:00
- 東武新桐生駅
電話/0277-46-1111(桐生市観光交流課)
受付/9:00~17:30(年末年始を除く金・土・日)

TOPIC



9:00~11:00

あしかがフラワーパーク

花の街・足利のスタートはこのテーマ
パークがおすすめ。1年を8つの花の季
節に分け、それぞれに趣向を凝らしたア
レンジが見ごと。4月中旬~5月中旬に
は600量数の大藤棚が花を咲かせ、壮
麗な景色に包まれる。



10月下旬~2月上旬の
イルミネーションも必見

花を愛で、体験し、グルメに舌つづみ!



16:30~17:00

桐生織物記念館

街巡りの締めくくりがこの記念
館。桐生の織物産業の隆盛を
伝える国登録有形文化財だ。
見学したら、1階の織物売り場
でお土産を買おう。

15:00~16:15

桐生が岡動物園・ 遊園地

体験の後はレジャースポット
へ。桐生が岡動物園と遊園地
は、自然に囲まれた小高い丘の
上。動物園には100種類以上の
動物たち、遊園地にはバイキン
グや大観覧車も。どちらも入園
料無料。



桐生が岡動物園

住所/桐生市宮本町3-8-13
電話/0277-22-4442
営業時間/9:00~16:30
無休

桐生が岡遊園地

住所/桐生市宮本町4-1-1
電話/0277-22-7580
営業時間/9:30~17:00(3~10月)、
9:30~16:00(11~2月)
火休(それ以外は時期によって異なる)



11:30~14:00

石畳通り

足利学校から「石畳通り」を散
策しながら国宝鑑阿寺へひと歩
き。風情のあるレトロな店舗がお
もてなし。ここでランチを楽しん
でみては?



相田みつをゆかりの店

めん割烹 なか川
住所/足利市通2-2659
電話/0284-41-2322
営業時間/11:00~21:00
火休(祝日の場合は翌日)
「天ぬきそば御膳」(2,100円)

14:00~15:00

足利織姫神社

産業と縁結びの神社として広く市
民に親しまれており、229段の石
段を上った先に美しい朱色の社殿
が現れる。「恋人の聖地」や
「日本夜景遺産」に選ばれ
ており、「愛の鐘」のモニュメ
ントを鳴らすこともできる。



15:40~17:10

ココ・ファーム・ワイナリー

足利北部の山の急斜面を開墾した
ブドウ畑が広がるワイナリー。手間
隙にかけてつくられたワインは、国際線
ファーストクラスへも提供。
カフェでは地元の農産物を
素材にした料理が楽しめる
ので、ちょっと早いディナー
というプランも。ワイナリー
の見学もできる。



ブドウ畑を
眺めながら
自家製ワインを

そして、
桐生へ

18:30

JR桐生駅前 ホテルへチェックイン

桐生まで移動して1泊。朝から桐生
を観光できるので効率的。

2日目

8:30~ チェックアウト

8:45~13:00

着付体験、 重伝建地区巡り、 桐生三大市、そしてランチへ

織物の街・桐生の歴史を感じる重伝建地区を
歩きます。織物の産地ならではの本格的な着
付体験を行っているので、着物を着て三大市
を訪ねてみよう。街巡りのあとはランチへ。



通り沿いに約80店舗が並ぶ
桐生三大市の一つ「桐生菜市」

13:15~14:45

織物参考館“紫”で藍染め・織物体験

そして桐生を訪れたら、ぜひ試してみたいのが織物体験。
織物参考館では実際に機織り&藍染め体験が楽しめる。
ハンカチやTシャツなどを染めてお土産にしたいかが?



オリジナル
藍染めが
簡単に作れちゃう!

ポテト入り焼きそば/ ほりえ

住所/桐生市本町3-5-9
電話/0277-47-3680
営業時間/11:00~18:00
火・水休(祝日の場合は営業)
「ポテト入り焼きそば」
(300円)



コロコロの
ジャガイモ入り
ご当地グルメ



肉なしで
モチモチの
コロリンシュウマイ

コロリンシュウマイ

住所/桐生市相生町5-204-23
電話/0277-53-8617
営業時間/10:00~18:00
月休(月1回火休あり)
(5個入り 162円~)

GOAL!/
21:30 東京都内



桐生市桐生新町 重要伝統的建造物群 保存地区

本町1・2丁目、天神町の一部には、織物関係の蔵や町屋、ノコギリ屋根工場などが残され、織物産業で栄えた桐生の歴史を伝えている。2012年に国の重伝建地区に選定。

タイムスリップ
したような街並み



桐生ファッション ウィーク

「このまち浪漫」をテーマに開催するイベント。恒例のクラシックカーフェスティバル、伝統工芸、文化、歴史、音楽、グルメなど、多くの団体が参加。



イベントが
盛りだくさん！



ゑびす講

毎年11月19、20日に開催。商売繁盛を願う参詣客で賑わう西宮神社の例祭。神楽、白瀧の舞、ゑびす太鼓が奉納されるほか、福まきが行なわれる。



紅葉まつり・ ぼたん祭り

11月中旬、宝徳寺境内にある100本以上のモミジが見ごろに。境内からは関東百名山の鳴神山の紅葉も楽しめる。春には500株といわれる赤やピンク紫のぼたんが満開となって賑わう。



白瀧神社

里人に織物技術を伝えたといわれる白瀧姫を祀る神社。耳を当てると機音が聞こえたという「降臨石」や、樹齢300年以上の市指定天然記念物「白瀧神社のケヤキ」も見もの。



後藤織物

1870(明治3)年創業。洋式染色技術の導入で明治初期の桐生織物に大きく貢献した。主屋、奥座敷、工場、蔵、表門など、10の建物が国登録有形文化財に登録されている。



桐生織物記念館

桐生織物同業組合の事務所として使われた産業遺産。1Fはメイドイン桐生の織物製品の販売所、2Fには織物関連の資料が見られる展示室がある。



絹撚記念館

大谷石造り洋風2階建て。関東大震災以前の洋風石造り建造物としては全国的にも貴重で、群馬県最古級。現在では郷土資料の展示施設として公開されている。



織物参考館“紫”

「動く、さわれる、生きていく」をテーマに、古い染織技術、文化の発展、足跡を物語る資料約1,200点を展示。繭から糸を取り、染色して織り上げるまでのシステムが体験できる。



桐生織物記念館

住所／桐生市永楽町6-6 電話／0277-43-7272
営業時間／10:00～17:00
毎月最終週の土・日、8/13～16、12/29～1/3休
無料

織物参考館“紫”

住所／桐生市東4-2-24 電話／0277-45-3111
営業時間／10:00～16:00
入場料／大人700円、大学生600円、
中・高校生500円、小学生400円
月、12/29～1/4休

桐生 お楽しみ 日本遺産 Japan Heritage Event

地域色豊かな祭りや
イベントの数々。
その魅力に触れてみよう。



桐生八木節まつり・ 桐生祇園祭

毎年8月第1金・土・日曜日に開催される市内最大のイベント。市内各所で、八木節おどり、全日本八木節競演大会、子どもみこし、ダンス八木節・ジャンボパレードなどが行われ、約50万人以上の方が訪れる。



ひざり 日限地藏縁日

夢枕に地藏が現れ、「日を限って願掛けすれば願いを叶えよう」という伝承から、毎月24日に観音院の縁日が開かれる。



縁起物の
だるまさんは
おみやげにも人気

だるま市

1964(昭和39)年から始まった1月の風物詩。普門寺の参道に露店や屋台が並び、開運・商売繁盛・家内安全・厄除けなど、大小さまざまな「だるま」を求めて家族連れなどで賑わう。



桐生ファッションウィーク

場所／有鄰館ほか市内各所
電話／0277-45-1201(ファッションタウン桐生推進協議会／
桐生商工会議所内)
開催日／10月下旬～11月上旬

桐生八木節まつり・桐生祇園祭

場所／本町通り・末広町通りほか
電話／0277-46-1111(桐生市観光交流課)
開催日／8月第1金・土・日曜

ゑびす講

場所／西宮神社
住所／桐生市宮本町2-1-3
電話／0277-46-1111(桐生市観光交流課)
開催日／11月19、20日

日限地藏縁日

場所／観音院
住所／桐生市東2-13-18
電話／0277-45-0066(観音院)
開催日／毎月24日

紅葉まつり・ぼたん祭り

場所／宝徳寺 住所／桐生市川内町5-1608
電話／0277-65-9165
紅葉まつり／11月中旬
ぼたん祭り／4月下旬～5月上旬

だるま市

場所／普門寺
住所／桐生市菱町4-2274
電話／0277-46-1111(桐生市観光交流課)
開催日／1月の第3日曜

DATA

桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区

住所／桐生市本町1～2丁目の全域、天神町の一部
電話／0277-46-1111
(桐生市文化財保護課)

後藤織物

住所／桐生市東1-11-35
電話／0277-45-2406
営業時間／10:00～15:00 土・日休

白瀧神社

住所／桐生市川内町5-3288
電話／0277-46-1111
(桐生市文化財保護課)

絹撚記念館

住所／桐生市巴町2-1832-13
電話／0277-44-2399
営業時間／9:00～17:00 月休(祝日の場合は翌日)
入場料／高校生以上150円、小・中学生50円



ひもかわ

もう一つのご当地グルメがこれ。普通のうどんより麺の幅が広くて薄い。幅は店によってまちまちで10cm以上という幅広麺も。ソルンとしたのど越しが楽しめる。

第二宮島庵境野支店の「もりひもかわ」(650円)

桐生 一天グルメ

ソースカツ丼

桐生発祥の二大ご当地グルメの一つ。サクサクとした菌ごたえとソースの旨味が特徴で、キャベツを敷かないのが桐生流。肉の味わいはもちろん、店によって異なるソースを比べる楽しみも。



藤屋食堂の「ソースカツ丼」(830円)



志多美屋本店の「ソースカツ丼(4個入)」(900円)

花ぱん

桐生天満宮の梅紋を模した形で、卵と小麦粉を練って焼いたもの。(1袋 700円)



アイスまんじゅう

こしあんをミルクアイスでくるんだ桐生の定番アイス。(1個 248円)



野菜チャーシュー麺

地元で大人気のラーメン店。あっさり味ながら、コクとうま味があふれる一杯。

よしだの「野菜チャーシュー麺」(950円)

ハニートースト

トーストを生クリームやイチゴでデコレーション。地元の女子高生から火がついた桐生の人気デザート。(レギュラーサイズ 800円)



のこぎり屋根のフレンチトースト

伝健地区にあるノコギリ屋根工場を改装したベーカリーでは、ユニークな「のこぎり屋根のフレンチトースト」が味わえる。他に克蘭ベリー、ブルーベリーなど天然酵母の自家製パンやセットメニューも人気。



ベーカリーカフェレンガの「のこぎり屋根のフレンチトースト」(184円)

利平茶屋 森林公園

自然の中で、バーベキュー、キャンプ、ハイキング、イワナ釣りなどのアウトドアアクティビティが体験できる。全国初の小水力発電所の見学も楽しめる。



桐生体験したいのあれこれ!



ぐんま昆虫の森

敷地内に棚田、畑、小川などを再現した、全国的にもユニークな昆虫をテーマにした体験型施設。



カリビアンビーチ

関東最大級の屋内温泉プール。波のプール、ウォータースライダー、ダンスリバーフォーなど、多彩なプールで、一年中夏の楽園!

桐生 お楽しみ スポット

グルメ&物産

Gourmet & Products

桐生へ来たらずい食べたい。そんなとっておきのご当地グルメと自慢の特産品をラインナップ!

体験 スポット

Experience Spot

見る、食べるだけでなく、自分の体で体験! 桐生らしいアクティビティをご紹介します。



星定観光農園

ぶどう狩りをメインとして、芋掘り、栗ひろいなどができる体験型の観光農園。ぶどう狩りの収穫体験は、9月上旬〜10月中旬頃に楽しめる。(要予約)



家族でバーベキューも楽しめる

着物着付体験

織物産地ゆえに、本格的な着物着付体験ができる。着物の所作もレクチャー。他の着物着付体験とは一線を画す、日本文化体験メニューをぜひ。



黒保根溪流フィッシング

ルアーとフライフィッシングが手軽に楽しめる管理釣り場。イワナ、ヤマメ、ニジマスなど、60cmを超える大物が釣れると評判。溪流では家族でイワナやヤマメの餌釣りも楽しめる。



忠治漬

日本一の穂高産のわさびと吟味した酒粕、瓜の入ったわさび漬。格別な香りと風味で桐生みやげの定番。(378円〜)



超撥水風呂敷『ながれ』

撥水加工を施した、進化した風呂敷。一般的な用途はもちろん、濡れたものを包んだり、傘代わりになったりと幅広く使用できる。(3,024円〜)

松井ニット技研 マフラー

世界的に有名な松井ストライプ柄のマフラーが人気! 「マフラー」(9,396円〜)



山ストール

織物の街・桐生ならではの物産。ストールにもネックゲイターにもなる逸品。「山ストール」(9,396円) 「Tシャツ」(3,500円)



お土産買うならココ!

道の駅くろほねやまびこ

黒保根産の季節の野菜を販売。地粉を使用したうどんもご賞味を。住所/桐生市黒保根町下田沢91-4 電話/0277-96-2575 営業時間/9:00~17:00(直売所)、11:00~15:00(食事/土・日・祝日は~15:30、冬のみ火休)

桐生観光物産館わたらせ

花ぱん、ひもかわうどん、織物など、桐生の特産品を買うならココ。住所/桐生市末広町11-1(JR桐生駅構内) 電話/0277-40-1888 営業時間/8:30~18:00 無休

桐生うどんの里

吾妻山麓の源水を使用した吾妻うどんの手打ち体験ができる。玉から伸ばして切る30分コースと、粉から足踏み、玉にして切る90分コースが選べる(要予約・5名以上)。



DATA

ひもかわ/

第二宮島庵境野支店

住所/桐生市境野町6-601-8 電話/0277-43-7622 営業時間/11:30~14:30 17:30~20:30 月・第3火休

ソースカツ丼/

藤屋食堂

住所/桐生市清瀬町5-49 電話/0277-45-1805 営業時間/11:15~14:30 17:00~20:15 月休

ソースカツ丼/

志多美屋本店

住所/桐生市浜町1-1-1 電話/0277-44-4693 営業時間/11:00~14:00 17:00~20:00 木・第3金休

ベーカリーカフェレンガ

住所/桐生市東久方1-1-55 電話/0277-32-5553 営業時間/8:00~18:00 (土・日・祝7:00~) 無休

手打らーめんよしだや

住所/桐生市東1-2-31 電話/0277-44-3813 営業時間/11:00~14:00 (土曜は14:30) 不定休

花ぱん/小松屋

住所/桐生市本町4-82 電話/0277-44-5477 営業時間/10:00~17:00 水休

アイスまんじゅう/

シロフジ製パン所

住所/桐生市相生町1-298-9 電話/0277-53-5115 営業時間/10:00~18:00 月、第2・4日休

忠治漬/高野商店

住所/桐生市錦町1-8-6 電話/0277-44-3322 営業時間/9:30~18:30 水・第4木休

ハニートースト/

キッチンマカロニ

住所/桐生市錦町2-14-30 電話/0277-46-9325 営業時間/11:00~16:00、18:00~24:00(月~木) ※全・土は2:00まで 日・第3月休

松井ニット技研マフラー・

超撥水風呂敷『ながれ』/

住所/桐生市本町3-6-30 電話/0277-43-5113 営業時間/10:00~19:00 水休 ※桐生織生地も格安販売

山ストール/

PRIRET-ブライレット-

住所/桐生市宮本町3-6-30 (新店舗所在地) 電話/090-6316-1388

利平茶屋森林公園

住所/桐生市黒保根町下田沢1900-1 電話/0277-96-2588(開園期間) 0277-96-2113(開園期間、黒保根支所地域振興整備課) 営業時間/8:30~17:00(2月1日から受付開始) 開園期間/4月28日~10月 料金/大人200円、小人100円、パンガロー1棟5,000円〜

カリビアンビーチ

住所/桐生市新里町野461 電話/0277-70-2121 営業時間/10:00~21:00 木休(5~9月・祝日は営業) 入館料/大人510円、小・中学生300円、3歳~未就学児100円(平日) 大人820円、小・中学生500円、3歳~未就学児100円(土・日・祝・7/21~8/31)

星定観光農園

住所/桐生市黒保根町下田沢624 電話/0277-96-3708(要予約) 営業時間/8:00~17:00 不定休 体験料/ブドウ狩り 大人500円、子供300円、果拾い 大人100円

着物着付体験

電話/090-4000-5543 営業時間/9:00~12:00(着装時間) ※16:00までに要返却 受付は随時(要予約) 料金/3,500円(レンタルは着物・帯・帯揚・帯締・下着・足袋・草履と着装)

黒保根溪流フィッシング

住所/桐生市黒保根町下田沢1874-1 電話/0277-96-2099 ※営業時間は季節によって異なる。無休 料金/溪流エサ釣り・大人4,300円(4時間)、ルアー&フライ・大人5,300円(1日) ほか

桐生うどんの里

住所/桐生市川内町1-254-1 電話/0277-65-9030(要予約・5名以上) 営業時間/9:00~17:00 土・日・祝休(要問合せ) 料金/30分コース1,080円、90分コース1,620円



桜、あじさい、藤、バラ、梅、紅葉など
足利は1年を通して
百花繚乱の街

桜

桜の名所も数多い足利。鏝阿寺(ばんなじ)では、お堀沿いの桜並木のライトアップが楽しめる。織姫公園では約330本の桜が咲き誇る。



あじさい

吉祥寺は源氏足利氏5代・頼氏の創建。南側の斜面に15種1,500株のあじさいが咲き誇り「あじさい寺」として親しまれている。6月下旬には「吉祥寺あじさい弁天まつり」を開催。



日本の学校は
ここから始まった

史跡 足利学校

宣教師ザビエルにより「日本国中最も大にして、もっとも有名な坂東の大学」と紹介された日本最古の学校。学校門、孔子廟は1668年建築。美しい庭園と方丈などは江戸中期の姿に復元され、当時の面影を感じることができる国指定史跡。



藤の絶景には
誰もが感動！

あしかがフラワーパーク

うすべに藤、むらさき藤、白藤、きばな藤など壮麗な藤の花で世界を魅了するスポット。600畳敷の大藤棚は圧巻。450種2,500株のバラも必見。10月下旬から開催の「光の花の庭」は日本三大イルミネーションにも認定。

足利

お楽しみ 花の名所 Flower Spot

桜やあじさい、藤やバラ、梅や紅葉など、足利は1年を通じて百花繚乱の街。

利

スポット 歴史・文化 History & Culture

ザビエルが「坂東の大学」と呼んだ史跡 足利学校を始め、足利氏ゆかりの古寺・名刹の数々。

ばんなじ 鏝阿寺

室町幕府を興した足利氏の居館跡。本堂は鎌倉時代の特徴を現す禅宗様建築として貴重であり、国宝に指定。境内は、春は桜、秋はイチヨウの黄葉が素晴らしく、季節ごとの美しさを楽しめる。



貴重建造物は 一見の価値あり



ぎょうさんじょういん じ 行道山浄因寺

「関東の高野山」とも呼ばれる名刹。巨石の上に建つ清心亭の風景は、葛飾北斎にも描かれ、南画さながらの景勝地として県名勝に指定。



下野国一社八幡宮

1056年八幡太郎源義家が陸奥追討の際に戦勝祈願のため創建。鳥居や拝殿、クロマツなどの文化財が豊富。隣接する日本三大縁切稲荷「門田稲荷」には、病氣・災難など悪縁を切りたいと願う参拝者が訪れる。



梅

梅の名所・西溪園は、開花時期に無料開放され、約1,200本の白梅と紅梅が咲き誇る。栗田美術館では梅がお出迎えし、散策も楽しめる。



紅葉

錦秋の足利の風情もまた格別。足利学校は、学校門や池を借景にした眺めが素晴らしく、イチヨウやモミジが見ごと。鏝阿寺の大銀杏や、行道山浄因寺の巨石の上に建つ清心亭を囲むように彩る赤や黄色の紅葉も必見。



徳蔵寺

五百羅漢堂、五百羅漢尊、千庚申塔、かな地藏尊など、県指定重要文化財のあるお寺。人々がピンポン玉のように心を通わせる寺でありたいと「ピンポン寺」の愛称も。



史跡樺崎寺跡・ 樺崎八幡宮

史跡樺崎寺跡は、源氏足利氏2代・足利義兼が創建したといわれている中世寺院の遺跡。この遺跡内にある樺崎八幡宮は、義兼の霊廟。樺崎寺跡は復元整備の工事が進んでいる。

足利氏ゆかりの
鏝阿寺の奥の院



DATA

あしかがフラワーパーク

住所／足利市追分町607
電話／0284-91-4939
営業時間／9:00～18:00(季節によって変動)
入園料／花の咲き具合、期間によって変動あり

梅／西溪園

住所／足利市西宮町3855
電話／0284-43-3000(一社 足利市観光協会)

しだれ桜／旧袋川 (市総合運動場北東)

住所／足利市東砂原後町～本城1丁目
電話／0284-20-2165(足利市観光振興課)

あじさい／吉祥寺

住所／足利市江川町245
電話／0284-42-6006

桜／織姫公園

住所／足利市巴町3890-17
電話／0284-40-1787(公財 足利市
みどり文化・スポーツ財団 花とみどりの課)

紅葉／史跡 足利学校

住所／足利市昌平町2338
電話／0284-41-2655
営業時間／9:00～17:00(4～9月)、
9:00～16:30(10～3月) 第3月休
料金／一般420円、高校生210円

桜・紅葉／鏝阿寺

住所／足利市家富町2220
電話／0284-41-2627

紅葉／行道山浄因寺

住所／足利市月谷町1579
電話／0284-20-2165(足利市観光振興課)

史跡 足利学校

住所／足利市昌平町2338 電話／0284-41-2655
営業時間／9:00～17:00(4～9月)、9:00～16:30(10～3月)
第3月休
料金／一般420円、高校生210円

徳蔵寺

住所／足利市猿田町9-3
電話／0284-41-8621

鏝阿寺

住所／足利市家富町2220
電話／0284-41-2627

下野国一社八幡宮

住所／足利市八幡町387-7
電話／0284-71-0292

行道山浄因寺

住所／足利市月谷町1579
電話／0284-20-2165(足利市観光振興課)

史跡樺崎寺跡・樺崎八幡宮

住所／足利市樺崎町1723ほか
電話／0284-20-2230(足利市教育委員会文化課)



／
上
が
る
社
殿
／



足利織姫神社

境内から眼下に広がる関東平野の眺望は必見。夜は市内の夜景を堪能。さらに社殿がライトアップされ、幻想的な空間を演出。昼夜とも美しい景色に魅了されること間違いなし。



名草の巨石群

名草厳島神社の境内には「胎内くぐり」で知られる高さ11m以上、周囲30mの御供石や弁慶の手割石、石割楓、御船石などの巨岩・奇石が重なり合い、独特な雰囲気醸し出している。



街を巡りながら
グーを充電！



美人証明を
いただこう！

本城厳島神社・美人弁天

「美人弁天」は、厳島神社の御祭神・市杵島姫命の分身。日本で唯一「美人証明」を発行している。身につけることで弁天様のご加護が降り注ぎ、心穏やかに優しく美しくなるといわれている。



DATA

足利織姫神社

住所／足利市西宮町3889
電話／0284-22-0313
(足利織姫神社奉賛会) ※お問合せは平日のみ

名草の巨石群

住所／足利市名草上町4990
電話／0284-41-9977 (名草公民館)

本城厳島神社・美人弁天

住所／足利市本城2-1860
電話／0284-41-1382 (美人弁天事務局)

総社八雲神社

住所／足利市緑町1-3281
電話／0284-21-8801

足利 お楽しみ パワースポット

Power Spot

運気をアップするエネルギーに
満ちたお寺や神社。
訪れてご利益を授けよう！

利 スポット グルメ

Gourmet

人気の日本そば、
気軽に味わえるB級グルメ、
地場産のワインなど堪能しよう！



あしかが美人 あしかが美人

足利市を代表する農産物ブランド。トマト、いちご、大根、人参、きゅうり、なす、アスパラガスの7品目。足利市の土壌で美味しく育った野菜、それが「あしかが美人」。

足利名物日本そば！

日本そば

足利の水はそばに適しているため、古くから美味しいそば店が数多くある「そば処」として有名である。のどごしと風味の良さを堪能！

いけもりの「まいたけ天ざる十割」
(1,330円)



第一立花の一日15食限定
「生粉打ちそば」(750円)



足利シュウマイ

玉ねぎと片栗粉だけを練って蒸かして作った肉の入っていないシュウマイ。辛めのソースで食べるのが定番。
(2個入 160円)

ポテト入り焼きそば

地元の子どものおやつがルーツ。ほくほくポテトと足利の食文化に欠かせない地元産オリジナルソースがベストマッチ。
(380円)



／
桶
木
屈
指
の
／
ワイナリー

ワイン

ココ・ファーム・ワイナリーのワインは、自家畑で化学肥料や除草剤を一切使わず、酵母も天然酵母を使用。葡萄も100%国産。開放的な景色を眺めながら、ゆっくり楽しみたい。



古印最中

鏝阿寺の古印、田崎草雲の落款などを象った四角い最中。食べ飽きない甘さが人気。(1個130円、5個入 702円)

栗むし羊かん

北海道十勝産の大豆と吉野産の本葛をつなぎに使用。甘さ控えめの名物羊かん。(1個175円、6個入 1,185円～)



芋ようかん

「元祖芋ようかん」。原材料は国産サツマイモ、砂糖、塩のみを使用。サツマイモの風味とやさしい甘さは、素朴ながら上品な味わい。(1本 700円)

大麦ダクワーズ

国産大麦100%の生地の中に、麦こがしとアーモンドのクリームを挟んだやわらかく香ばしい、サクッふわっの美味しさ。(4個袋 540円～)



あしかが美人／JA足利 (農産物直売所 あんあん弥生)

住所／足利市弥生町20
電話／0284-40-1141
営業時間／9:30～17:00
8/14～8/16、1/1～1/3休

手もみそばいけもり

住所／足利市宮北町1-2
電話／0284-43-0731
営業時間／11:00～15:00、
17:00～20:00
(月曜のみ11:00～15:00) 火休

古印最中／香雲堂本店

住所／足利市通4-2570
電話／0284-21-4964
営業時間／9:00～19:00 元日のみ休

栗むし羊かん／草雲羊羹本舗

住所／足利市緑町1-3261
電話／0284-21-4771
営業時間／9:30～19:00 水休

九一そば 第一立花

住所／足利市通6-3222
電話／0284-22-0505
営業時間／11:00～15:00、
17:00～20:00
水の夜、第2木休

芋ようかん／舟定屋本店

住所／足利市通4-2812
電話／0284-21-3807
営業時間／9:30～18:30
水・第4火休

ワイン／ココ・ファーム・ワイナリー

住所／足利市田島町611
電話／0284-42-1194
営業時間／10:00～18:00 (ショップ)、
11:00～17:30 L.O. (カフェ)
1月第3月～金、11月収穫祭前日、12/31～1/2休

大麦ダクワーズ／大麦工房アロア (工場直売所)

住所／足利市大月町3-1 電話／0284-64-8847
営業時間10:00～18:30 水休

足利シュウマイ・ポテト入り焼きそば／大日茶屋

住所／足利市家富町2220
電話／0284-55-4554
営業時間／9:00～17:00 火休

春

くろほね桜まつり

カワツザクラ、ミヤビザクラ、ソメイヨシノ、シダレザクラなど約300本の桜が楽しめる。

■場所／わたらせ渓谷鐵道水沼駅周辺
■開催日／4月上旬



チューリップまつり

園内11カ所の花壇に植えられた約10,000本のチューリップが色とりどりに開花。

■場所／吾妻公園
■開催日／4月中旬～下旬



賀茂神社太々神楽

他で見ることができない珍しい神楽「肩紙拾い三番叟」は必見。毎年春・秋に行われる。

■場所／賀茂神社
■開催日／春(4月14、15日)、秋(10月15日に近い日曜日)

花菖蒲まつり

市内外からも多くの人が訪れる人気イベント。

■場所／吾妻公園
■開催日／6月中旬

夏

桐生八木節まつり

桐生の夏、最大のお祭り。市内各所で多彩な催しが繰り広げられる。

■場所／本町通り・末広町通りほか
■開催日／8月第1金・土・日曜



桐生祇園祭

豪華な彫刻で飾られた日本最大級の祇園屋台・鉾・大櫓が見もの。

■場所／本町通り・末広町通りほか
■開催日／8月第1金・土・日曜



新里まつり

アトラクション、八木節、ライブ演奏、4,500発の花火などで賑わう。

■場所／新里総合グラウンド
■開催日／8月15日

くろほね夏まつり

八木節競演大会、マスのつかみ取り、2,500発の花火などで盛り上がる。

■場所／黒保根運動公園
■開催日／8月15～16日

秋

きりゅう映画祭

市の魅力発信を目的として、2011年から毎年開催している映画イベント。

■場所／桐生市市民文化会館
■開催日／9月上旬頃

桐生ファッションウィーク

約10年間連続で、桐生の魅力を各種イベントにより発信。

■場所／有鄰館ほか
■開催日／10月下旬～11月上旬



紅葉

山と川に囲まれた桐生市は紅葉も見ごと。

■場所／宝徳寺、桐生川源流ほか
■開催日／11月中旬



ゑびす講

関東一円から訪れる参拝者で賑わう、商売繁盛の祭礼。

■場所／西宮神社
■開催日／11月19、20日

新里地区産業祭

JAにったみどりによる新鮮な農畜産物即売などが行われる。

■場所／JAにったみどり 新里野菜集出荷所
■開催日／11月中旬

冬

桐生七福神巡り

県道桐生田沼線沿いの寺院を巡る。行程は5km約3時間のウォーキング。

■場所／光明寺、妙音寺、法経寺、青蓮寺、久昌寺、鳳仙寺、西方寺
■開催日／1月～3月

七草粥

崇禅寺で朝6時から行われる儀式の後、参詣者に振るまわれる。

■場所／崇禅寺 ■開催日／1月7日

梨木の氷柱(氷のカーテン)

斜面から湧き出した水が凍ってできる氷柱が見もの。

■場所／黒保根町宿廻の林道脇
■開催日／1月中旬～2月中旬



みどりしんじ 御簀神事

氏子たちが東西に分かれ、火のついた薪を投げ合って厄除けをする勇壮な神事。

■場所／賀茂神社 ■開催日／節分の日



堀マラソン

小学生から一般まで参加する市民マラソン。新川公園をスタート、二渡神社先を折り返すコースで熱戦が繰り広げられる。

■場所／新川公園ほか
■開催日／2月

桐生広域物産まつり

桐生広域の各種物産と親善都市の物産品・山海の特産物を展示即売。

■場所／桐生市市民文化会館
■開催日／2月中旬の土日

春

ふじのはな物語

うすべに藤、むらさき藤、白藤、さばな藤と1カ月間藤を楽しむ。夜のライトアップでは、星とは違う表情がみられる。

■場所／あしかがフラワーパーク
■開催日／4月中旬～5月中旬

鍬阿寺春まつり

一切経堂の特別公開、大護摩供などが行われる。

■場所／鍬阿寺
■開催日／5月3～5日

北仲路地裏ワイン

歩行者天国で行われるワインイベント。陽気な音楽とともに足利産ワインが楽しめる。

■場所／北仲通りおよび路地裏
■開催日／5月3日



初山祭り(ペタンコ祭り)

赤ちゃんの額に御朱印を押してもらい無病息災を祈願。400年以上続く市の民俗文化財指定の祭事。

■場所／浅間神社
■開催日／6月1日

ホテルまつり

名草地区では「名草ほたるまつり」、松田地区では「松田のホテル」を開催。

■場所／名草地区、松田地区
■開催日／6月中旬～下旬

夏

七夕まつり

「七夕飾り」が通りを彩り、屋台やイベントも楽しめる。

■場所／北仲通り
■開催日／7月下旬～8月上旬

足利花火大会

1903年から続く北関東随一の花火大会。約2万発が打ち上げられ、ファイナーシの大ナイアガラは必見。

■場所／渡良瀬川田中橋下流河川敷
■開催日／8月第1土曜日



石尊山梵天祭り

長さ約15mの御柱と250体あまりの梵天を山頂まで担ぎ揚げ、日の出とともに打ち立てる、県の無形民俗文化財。

■場所／石尊山
■開催日／8月14日



灯ろう流し

先祖の名前を書いた灯ろうを渡良瀬川へ流し、供養する夏の風物詩。

■場所／渡良瀬川
■開催日／8月17日

秋

足利織姫神社
秋季例大祭

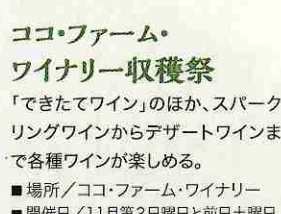
神事、和太鼓・箏曲の奉納演奏などが執り行われる恒例の大祭。

■場所／足利織姫神社
■開催日／11月3日

紅葉

11月中旬頃から、市内の公園や社寺の境内、山々が鮮やかに染まり始める。

■場所／行道山浄因寺、足利学校など
■開催日／11月中旬～下旬

ココ・ファーム・
ワイナリー収穫祭

「できたてワイン」のほか、スパークリングワインからデザートワインまで各種ワインが楽しめる。

■場所／ココ・ファーム・ワイナリー
■開催日／11月第3日曜日と前日土曜日

せきでん
釋奠

孔子とその弟子を祭る、足利学校の伝統儀式。雅楽の流れる中で厳かに行われる。

■場所／足跡 足利学校
■開催日／11月23日

足利秋まつり

「三大陶器まつり」「足利グルメグランプリ」など、各種の催しが開かれる。

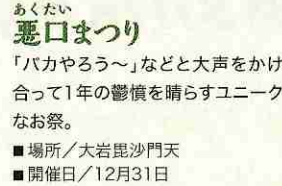
■場所／栗田美術館、あしかがフラワーパークなど
■開催日／11月下旬

冬

光の花の庭

園内に光があふれ、光の花が華やかに咲き誇る圧倒的な迫力は必見。2017年に「日本三大イルミネーション」に認定。

■場所／あしかがフラワーパーク
■開催日／10月末～2月上旬

あぐたい
悪口まつり

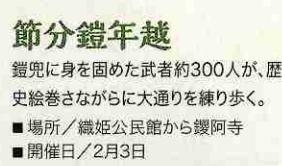
「バカやろう～」などと大声をかけたって1年の鬱憤を晴らすユニークなお祭り。

■場所／大岩毘沙門天
■開催日／12月31日

まゆ玉市

繭や蚕が無事に育つようにという養蚕家の行事が始まり。商売繁盛・家内安全を祈願する祭事。

■場所／徳正寺
■開催日／1月13日



節分鎧年越

鎧兜に身を固めた武者約300人が、歴史絵巻さながらに大通りを練り歩く。

■場所／織姫公民館から鍬阿寺
■開催日／2月3日



足利冬物語

「節分鎧年越」を始め「足利銘仙灯り」「足利風土祭」「足利ほろ酔いウォーク」など開催。

■場所／市内各所
■開催日／1月下旬～2月下旬

毎月開催のイベント!

桐生三大市と
桐生からくり人形芝居

桐生市で毎月第1土曜日に開かれる市は3つ。「天満宮古民具骨董市」「買場紗綾市」「桐生菜市」。どれも庶民的な熱気に包まれる。また、第1・第3土曜には、桐生からくり人形芝居が入場無料で開催されている。



天満宮古民具骨董市

■場所／桐生天満宮境内
■開催日／毎月第1土曜日

かいばさやいち
買場紗綾市

■場所／四辻の斎嘉駐車場
■開催日／毎月第1土曜日



桐生からくり人形芝居

■場所／有鄰館内「桐生からくり人形芝居館」
■開催日／毎月第1・第3土曜

毎月開催のイベント!

着付体験・藍染め体験

足利まちなか遊学館では、足利銘仙を中心とした着物の着付体験、坂東武者気分が味わえる甲冑着付体験が楽しめる。藍染めでは、自分だけのオリジナル作品を作る藍染めが体験できる。



着付体験／足利まちなか遊学館

住所／足利市通1-2673-1
電話／0284-41-8201
営業時間／9:30～14:00 第3月休(祝日の場合は翌日)
体験料／3,500円～

藍染め体験／天然藍染 藍組座

住所／足利市伊勢町2-7-5
電話／0284-44-3084
営業時間／10:00～17:00 不定休
体験料／ハンカチ1,000円、手拭い2,000円など



足利

Ashikaga

